

## 六角橋商店街ドッキリヤミ市で自衛隊をPR

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 服部3等陸佐）は5月21日（土）、神奈川県六角橋商店街において、自衛隊広報ブースを設置し、広報活動を行った。

ドッキリヤミ市は、4月～10月の毎月第3土曜日の閉店後、地元住民と神奈川県大学の学生との協力により開催されており、フリーマーケットやライブ、プロレス団体大日本プロレスによる商店街デスマッチ等を催しており、今回初めて自衛隊ブースを出展しPRを行った。

広報ブースでは、熊本地震災害活動パネルなどを展示し、隊員の写真を見た市民からは「迅速な対応で大勢の市民を助けてくれたありがとう」「自衛隊には感謝しています」「神奈川県に何かあったらよろしくお願ひします」などの声が聞かれた。

「今後も、地域のイベントを通じて自衛隊の活動をPRしていく」としている。

横浜出張所は、

「今後も、地域のイベントを通じて自衛隊の活動をPRしていく」としている。

「今後も、地域のイベントを通じて自衛隊の活動をPRしていく」としている。



来場者に災害派遣パネルの説明をする広報官

## 神奈川区湊フェスタで自衛隊をPR

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 服部3等陸佐）は、5月22日（日）、横浜市神奈川区の沢渡公園で開催された「湊フェスタ」において、自衛隊広報ブースを設置し、広報活動を行った。

広報ブースでは、ちびっこ迷彩・海上自衛隊制服の試着、災害派遣活動のパネル展示を行い、地域住民との交流を図った。特に、試着コーナーでは、たくさんの親子連れの行列ができ、来場者からは「可愛い」「格好いい」など多くの声が聞かれ、おおいに賑わった。また、災害派遣活動パネル（熊本地震災害）では、「大変でしたね、頑張ってください」など慰労の言葉が多数聞かれた。

当日は、横浜出張所募集相談員の小此木八郎衆議院議員がブースに訪れ、所員に激励の言葉をかけた。

横浜出張所は、「今後も、地域と密接に連携し、様々なイベントに参加して、自衛隊の活動に対する理解と信頼を得る努力を継続していきたい」としている。

「今後も、地域のイベントを通じて自衛隊の活動をPRしていく」としている。



ブースに激励に訪れた募集相談員

試着をして記念写真

## 第5期カレッジ防衛モニター委嘱

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 松田 辰雄 1等海佐）は、5月29日（日）、第5期カレッジ防衛モニター6名に対する委嘱式を実施した。

カレッジ防衛モニターとは、一般公募で採用した大学生を対象に、各部隊等の研修やイベントでの体験などを通じて、若者の視点から自衛隊や地本の広報活動に対する素直な感想や意見を聴取し、今後の諸施策に反映させるとともに、SNSを通じ自衛隊の活動を幅広く発信してもらうことを目的として導入されたもので、今年で第5期目となる。委嘱後の活動としては、潜水艦見学をはじめ、富士総合火力演習や自衛隊観閲式など月1回程度の研修が予定されている。今回のモニターは、大半が将来自衛隊への入隊を考えているとのこと、本部長から委嘱状を授与される際には、緊張した面持ちながら、「今後の活動が楽しみです」「SNS等での発信を通して、モニターとして感じたことを友人にもたくさん知ってもらいたい」と意気込みを語っていた。

自衛隊神奈川地方協力本部は、「自衛隊の真摯な活動を理解してもらえよう、印象に残る活動を計画していく」としている。



委嘱式



記念撮影